

4月2日 新給食センター視察



(写真)カレー・フルーツヨーグルト

市内の小中学校と高校に安全な給食を届けるために給食センターが新しくなりました。

地域振興対策特別委員会
(令和6年2月22日)

■市立三笠総合病院について

前回までの特別委員会に引き続き、新病院の建設に向けて財政面の詳しい資料を基に「市立三笠総合病院基本計画(案)」「市立三笠総合病院経営強化プラン」の調査を行いました。

▼新病院の経営について

病院事業と行政全体の財政推計資料について、三笠市の他の事業への影響や、今後のイニシャル、ランニングコストの削減方法について質疑を行いました。

▼周辺環境の整備の検討について

新病院の建設予定地の周辺について、薬局や交通など、今後開院したときの利便性の向上に向けての質疑を行いました。

▼医師・看護師の勤務状況について

新病院に向けて、病床規模の削減が行われること、また、経営改善を行っていることに伴い、病院職員の勤務状況や負担に関して質疑が行われました。

■今後の議論について

令和6年第1回定例会(3月議会)にて議決された予算をもって新病院の建設に向けて設計を行うこととなります。地域振興対策特別委員会では各委員の視点から、より具体的な事案に対して調査、提案を行ってまいります。

第1回定例会の概要

今回の定例会では、主に令和6年度各会計予算及び「市政執行方針」並びに「教育行政執行方針」についての大綱質問(次ページから)が行われた他、条例14件、補正予算4件、その他4件の議案を原案どおり可決しました。

■三笠市の任期付職員採用のための条例を可決

三笠市で専門的な知識経験または優れた識見を有する人材を任期付で採用を行うことができるようにするために、新たな条例を可決しました。

■国民健康保険条例の改正を可決

令和12年の北海道統一保険料に向けて段階的な引き上げを行うため、資産割の廃止、国民健康保険料の被保険者の公平化を図るため、後期高齢者支援金等賦課限度額の引き上げ等を行うための条例改正を可決しました。

■ヒグマ対策の春期管理捕獲支援事業の補正予算を可決

北海道の「人里出沒抑制等」のための春期管理捕獲制度を活用し、人里周辺に生息しているヒグマの低密度化、警戒心の植え付けによる人里への出沒抑制を行うため、また、ヒグマ対策技術者(ハンター等)の育成のための経費や活動費を支援するための補正予算を可決しました。

3月定例会の大綱質問
(3月15・18日)



池田 真志

▼マイナンバーカードについて
(保険証とのひもづけ)

【質問】市内医療機関や薬局におけるマイナンバーカードリーダー（読取装置）の設置状況と実際に使った際のトラブルについてお聞かせください。

【答弁】マイナンバーカードリーダーの設置状況は、市内の病院・診療所3機関、歯科診療所3機関、調剤薬局4機関の全てで設置、運用されています。導入当初の主なトラブルについては、「ひもづけされていないカードが数件あった」、「操作においてスタッフの補助が必要だった」、「顔認証されないことが頻発していた」などですが、操作に慣れたことや顔認証のバージョンアップにより、現在は大きなトラブルは見られません。

【質問】昨年7区町村長に実施した健康保険証廃止に対するアンケートについて、三笠市がどう回答されたかお聞かせください。

【答弁】該当するものは「全国自治体トップアンケート」における、マイナンバーカードに関する緊急調査の設問の一

つですが、市では健康保険証としての利用率や社会情勢から総合的な判断のもと「保険証廃止を延期すべき」と回答しています。

【その他の質問】

▼財政運営における収入確保について



島山 宰

▼市立三笠総合病院について
(建設・運営に関するコスト)

【質問】基本計画案では「病院機能を最優先に考えながら、施設規模や整備手法を検討し、建設コスト削減を行います」とうたわれておりますが、どういった手法によりコスト削減を行っていくのかお聞かせください。

【答弁】基本計画案の整備手法における従来方式を採用することで、入札の際に価格競争が行われることでのコスト削減、新病院の12診療科は診療科ごとに診療室を特定せず、診療科を組み合わせたブロックで構成することで面積削減による建設コストの削減、また、患者・スタッフの動線をコンパクトにまとめることも建設コスト削減に役立つと考えており、基本設計でより具体化していきたいと考えています。

【質問】訪問診療を兼ねて、将来的な診療科の縮小に対応するため、医療Ma

aS車両の導入は考えられますか。

【答弁】最近、オンライン診療の話や車の話もありますので、まだ具体的には検討できてはおりませんが、ドクターや大学の教授とのお付き合いの中で色々とお話を伺いながら研究してまいりたいと考えています。

【その他の質問】

▼ふるさと納税制度について
▼地域公共交通について



須河 恵介

▼観光地域づくり法人(DMO)としての登録に向けた取り組みの進捗について
(新たな観光形成の取り組み)

【質問】全国の市区町村の中でDMO設立や観光推進をしている自治体は限られている中で、三笠市の新たな観光形成は対外的にインパクトあるものになると期待しておりますが、その取り組みの現状及び今後の組織のあり方、方向性をお聞かせください。

【答弁】三笠は観光、イベントを行政が取り持つことがほとんどですが、そもそものDMOの発想として、かじを取り持つことに加えて、観光協会自体が稼ぐ力を持つようにすることや、関係する個々の団体も頑張る

ことを目指して始まったものであります。担当職員が頑張ってくれて、登録がもうすぐのところ、近づけてくれたと思っております。ただ、まだDMOの動きは始めたばかりなので、その過程の中でしっかりとそういう意識を構築していく、そのことが大事なのだろうと思っておりますので、これからもしっかり取り組んでいきたいと思っておりますし、ようやく三笠にもそういう時代が今、到来してきたと思っております。

【その他の質問】

▼三笠市の緑の生活環境の形成について



青木 康博
(社会民主党)

▼防犯対策について

(街路灯・防犯灯の管理への補助)

【質問】街路灯・防犯灯につきまして、LED化を実施する団体(町内会)に対して費用補助を行っています。LED化の推進を始めてからある程度年月が経過し、設置した街路灯・防犯灯の故障が発生する時期となつていっていることから、今後、設置を行った町内会の全額負担で修繕等を行うことになると思いますが、更新費用の補助を検討して頂けるかお聞かせください。

【答弁】LED街路灯の耐用年数は10年位と業者から伺っています。補助に

については設置費及び改造費で、故障取り替えは補助の対象に当たらないこととなっております。更新に対する費用については、管理団体において計画的に積み立てる協力をお願いしているところですが、しかし、従来の水銀灯は電球交換で修繕可能でしたが、LED灯は器具ごとの交換となり、町内会の節減された経費では更新できないこともあると考えており、実態の把握と近隣自治体の状況の把握を行い更新のあり方について研究を行ってまいります。

【その他の質問】

▼石炭地下ガス化について
▼三笠ジオパークについて



浅尾 三吉
(公明党)

▼産後ケア事業について
(事業の効果と今後)

【質問】令和5年度からはじめた「三笠の産後ケア事業」の利用状況についてお聞きします。また、これまでの三笠市の合計特殊出生率と令和5年度の予想についてお聞きかせください。

【答弁】利用状況は、通所型サービスが1名、訪問型サービスが1名、問い合わせ中が1名です。合計特殊出生率は、国立社会保障人口問題研究所が平成5年から平成29年までの5年ごとに発表している数字で、平成5～9年が1.3、平成10～14年が1.1、平成15～19年が

1.20、平成20～24年が1.18、平成25～29年が1.35となっております。増加傾向がみられます。今年度だけの数字は、算出方法が国の積み上げた情報によるものと違うため、市では示せません。令和5年度の出生者数は32名です。

【質問】利用件数が少ないですが、「活しやす産後ケア事業」にするための方策について、考えていることがあればお聞きかせください。

【答弁】宿泊型サービスも市内で行っていることや、新しいパンフレットで利用案内を妊娠中の伴走型支援や相談事業などにも活用し、あらゆる方法で事業内容の理解を図ってまいります。

【その他の質問】

▼市立三笠総合病院について



折笠 弘忠

▼財政運営について

(公共施設等の整備見込みと財源について)

【質問】市立病院の建て替え、石炭の地下ガス化の実証事業など、今後大きな予算が必要になります。新病院については、今後の財政推計を鑑みながら、その妥当性と将来にわたる財政上の大きな負担にならないように議論を重ねてきました。その他にも年数が経過した公共施設があると思えます。人口推移や需要を考慮した今後の見通し、修

繕等に係る経費の見込及び財源についてお聞きかせください。

【答弁】今進めている石炭地下ガス化などで新しい産業がつけられ、人口推移や需要も好転すると期待する中、人口減少Ⅱ施設の縮小・廃止ではなく、施設の目的や特徴、社会情勢を見ながら維持継続を考えていきます。ただし、財政を大きく圧迫する場合は、あり方を見極めていきます。経費は、市立病院の建て替えを検討する際に、修繕、整備に係る費用を毎年度見込んで推計してまいります。財源については一般財源となりますが、有利な起債なども活用し財政の安定運営に努めます。

【質問】市役所庁舎の建て替えについて今後検討されていきますか。

【答弁】市民生活に必要な施設整備が第一優先と考えますが、今回作成した財政推計は普通交付税など厳しめに設定しており、今後の歳入歳出の状況を見て財政状況に明るい兆しが見えましたら、市役所の建て替えの検討を考えていきたいと思えます。

【その他の質問】

▼協働・市民参加について



谷内 純哉

▼学校教育について
(GIGAスクール構想)

【質問】GIGAスクール構想に基づいて、学校における児童生徒、そして教

職員のICTの活用を進めていると思えます。児童生徒に教えていくうえで教職員が活用方法について、しっかりと学ばなければ活用することができないと思うが、研修等どのように行っているのかお聞きかせください。

【答弁】GIGAスクール構想は、令和元年12月に文部科学省から児童生徒が1人1台の学習用パソコンを自由に活用できる環境を整備することを目的に発表され、本市においても端末整備として令和2年にタブレットを整備しました。教職員用のタブレット等の活用に係る研修については、令和2年度からGIGAスクールサポーター事業により、外部講師による研修のほか、マンニアルの作成や、本市の教育研究所でも研修を行っています。

【質問】導入した機器について、一般的には5年程度で更新をしていくことと思うが、その考え方についてお聞きかせください。

【答弁】ICT機器については、一定の時期が経過すると様々な障害が発生することが多く、学校においても更新の必要があると考えています。機器の状況や補助制度を見極め、必要な時期に計画的に進めたいと考えています。

【その他の質問】

▼三笠ジオパークの取り組みについて

「三笠市議会」で検索するか、スマートフォン、タブレットで下記QRコードから会議録を閲覧できます。



三笠市議会

予算審査特別委員会(令和6年3月21・22日)

■令和6年度各会計予算を議決

令和6年度の予算について、予算審査特別委員会を設置し審査を行いました。今年度の予算については、「第9次総合計画」に基づいた、「子育て支援」「高齢者対策」「地域の特性を活かした経済・産業活性化対策」などに重点を置いて提案され、新病院の設計や石炭地下ガス化の実証事業などを含む188億8千719万2千円について慎重な審査の結果、議決しました。

■主な質疑

▼移住定住施策について

【質疑】定住率について、数年ほど大体70%前後でしたが、令和5年3月末に63.8%と大きく下がっているようですがその原因はわかりますか。

【答弁】行政で分析を行っておりますが、現在、特定の原因というものはわかっておりません。数字が良くなっている近隣市についても特段大きな事業の実施は見られませんでした。近隣と比べて三笠市の制度に不足があるとは認識しておらず、人口の率についても急激に減少したということもありませんでした。

【質疑】原因をつかむのは難しいことだとは思いますが、大きく数字が動いたということで、今行っている施策、令和6年度に行う施策について定住率をしっかりと確認し、注視していきたいと思えます。

【答弁】今行っている各種施策に加え、人事異動のこの時期に不動産仲介事業者や自衛隊、郵便局などにPRを行い、少数ですが成果があったと聞いておりますので、ぜひ今後も周知を図っていききたいと考えています。

▼鉄道村整備事業について

【質疑】今年度整備予定となっている「SL S304号」ですが、今後劣化によって運行が難しくなることも考えられますが、代替の方法等は考えているのでしょうか。

【答弁】SLは現在動態保存を行っており、北海道

で初めて鉄道が引かれたといった価値づけが非常に高いものと考えており、今後も実際に動かせるものとして続けていく予定です。また、代替として、SLを圧縮空気での運行を行っているところもあるため、事例の収集を図り、より良い選択をしていきたいと考えています。

【質疑】財源について、三笠鉄道村の運営のために積み立てられていた資金のほとんどを使うことになると思うのですが、建物やほかの展示品の保護保全についても考えていくと思うが、全体の考え方を聞かせてください。

【答弁】まず「S304号」については、できる限り動態保存を続けていきたいということ、また、今後もふるさと納税の鉄道村のために寄附いただいたものについては積み立てを行い、施設全体の必要な整備に使っていきます。全体の考え方としては、すべて修繕するのではなく、車両の価値や魅力をしっかりと判断し、より価値のあるものを残し、やむなく撤去しなくてはいけないものも電子媒体等で記録を残すなど様々な工夫をして取り組んでまいります。

▼防災備蓄について

【質疑】以前に防災倉庫を新築し、段ボールベッドなど必要な備えを行っていましたが、現在、不足なく備えられている状態でしょうか。

【答弁】今年度新たに組立て式の給水タンクを整備する予定です。そのほかにつきましましては備蓄計画を作成しており、計画書、今回の整備でほぼ揃うと考えています。

【質疑】年始に能登半島の災害があり、そこではとにかく食料と水だという話を聞きます。その時の災害によって想定と状況が変わることもあるかと思いますが、計画的に揃えているということとで安心いたしました。

【答弁】食料、水、備蓄用トイレについて避難想定人数を試算して、おおむねその3日分を揃えております。

議会広報委員会

委員長	池田 真志
副委員長	青木 康博
委員	須河 恵介
	浅尾 三吉

ご意見・ご要望

市議会だよりについて、より分かりやすく、読みやすい紙面づくりのための参考とさせていただきますので、市民の皆さんからの率直なご意見やご要望をお待ちしております。

【問合先】三笠市議会事務局

〒068-2192 三笠市幸町2番地 ☎②3194 Fax②7880

▶Eメール gikai@city.mikasa.hokkaido.jp

▶ホームページ <http://www.city.mikasa.hokkaido.jp/assembly/>